



# 担い手サポート通信

JA福井県五連組合員トータルサポートセンター農業支援課

(福井市大手3丁目2番18号 TEL:0776-27-8215 E-mail:noushien@chu.ja-fukui.or.jp)

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

福井県JAグループ

## ふくい担い手応援フェア

～農業者の所得増大について～

組合員トータルサポートセンターは11月8日、産業会館1号館にて『ふくい担い手応援フェア～農業者の所得増大に向けて～』を開催。このイベントは、福井県JAグループが本県の担い手をはじめとする農業者に対し、農業所得の増大に向けた提案と対話、情報発信を行うことを目的に企画した初めてのイベントです。

当日は小雨であったこともあり、農作業を切り上げて来られた農業者も多く、先着順による景品交換などの特典もあったことから、10時開場の30分以上も前から傘を差した行列ができました。また、来場者全員にトートバックとJA敦賀美方特産の東浦みかんが配布されました。



ステージ上では、平成30年の米政策、米穀情勢、県内園芸取組事例、複合経営による農業所得向上、ふくい農業応援プログラム、土づくりといった流れで研修が行われました。参加者らは熱心に耳を傾けており、終了後も講師の元に駆け寄り質問する姿も多く見受けられ関心の高さが窺われました。

一方、各種提案を企画したブースを20余設置。「いちほまれの紹介」コーナーでは、北陸三県で新たに誕生したブランド米の食べ比べを実施。石川県「ひやくまん穀」と富山県「富富富」の3つのお米の名前を伏せて食べてもらい、クイズ形式で楽しんで頂きました。



会場正面に設置した「水田園芸栽培提案」コーナーでは、キャベツとネギの栽培暦や栽培の成功・失敗事例、取組実績等のパネルが飾られるとともに、栽培暦に沿って実際に使用する肥料農薬資材や農機具を展示。収穫したての現物展示もあり、来場者の関心を寄せました。生産現場からは「作業をもっと楽にしたい、効率よくしたい、良いものを採りたい、失敗をなくしたい(雑草や病害虫被害など)」といった声が多く、各スタッフからそれらに対応した様々な情報提供が行われました。



また、「農業機械」コーナーでは大型トラクターや農業用アシストスーツ、自動操舵システムなどの最新技術が紹介され、大きな注目を集めました。来場者らは普段、目にするのできない各種機械を実際に手にとったり試用するなど、会場内でもひと際、目を引きつけていました。また、会場の外では午前と午後にわたりドローンの実演会が行われました。



なお、各ブースには、スタンプラリーを設置し、抽選にて餅つき機や刈払機、除草剤といった豪華景品があたるお楽しみ抽選会を実施し喜ばれました。さらに、お昼時にはキッチンカーからつくたてのお餅と豚汁の振る舞いも行われ、大いに賑わいをみせ



今回のイベントでは、関係者も含め約 700 名と多くの来場を頂き、ありがとうございました。

**(参考)研修会アンケート結果の抜粋**

|                                                                         |                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>平成30年の米政策について</b><br/>・生産調整目標の配分廃止の意図が分かった</p>                    | <p><b>県内園芸取組について</b> ～水田を活用した園芸導入による複合経営～<br/>・圃場の選定や作業量、作業時期等考慮すべき事項が分かった<br/>・実務者の話してわかりやすかった<br/>・現実的な内容でよかった</p> |
| <p><b>米穀情勢</b><br/>・数字による表示が良かった<br/>・よく理解できた<br/>・今後の取組みもお話してほしかった</p> | <p><b>新規就農者優良取組について</b> ～加工用キャベツの取組みについて～<br/>・コストがかからない技術をもっと研究してほしい<br/>・実践データを示してポイントがうまく伝わった</p>                 |
| <p><b>ふくい農業応援プログラムについて</b><br/>・GAPの認証販売取得事業の支払制度の資料がほしい</p>            | <p><b>水田園芸による所得向上を目指すには</b><br/>・少しずつやっていく事が良いと感じた<br/>・現実には難しいと思う</p>                                               |
| <p><b>土づくり研修</b><br/>・身近な話で引き込まれた<br/>・美味しい米の条件がよかった</p>                |                                                                                                                      |

# 福井県地産地消商談会 開催

## ～生産者と消費者との懸け橋に～

福井県JAグループでは10月18日、県産品の消費拡大と農業者の所得増大、さらには地産地消の促進を目的に『福井県地産地消商談会』を福井市の県産業会館で開催しました。商談会では各JA加工グループ、直売所などがセラー側として55ブースを出展し、新鮮な農産物や県産食材を使った加工品をPRしました。これに対し、県内の飲食店を中心に130社余りがバイヤー側として参加し、各ブースを巡回。セラー側は取り扱う商品を並べ、試食やパンフレットを配布したり、食べ方や提供できる時期、数量、価格などを説明しました。また、個別に商談できるスペースも設けるなど実務的な商談が



進められました。参加した生産者からは「バイヤーの要望が聞けた」「求めていることが分かった」など、手応えが感じられる感想を耳にし、成功裏に終わることができました。なお、県JAグループとしての商談会の開催は今回が初めての取り組みです。

# 第7回 担い手対応レベルアップ講習会 開催

## ～税務申告をアドバイス～

組合員トータルサポートセンターでは、年間を通じて『担い手対応レベルアップ講習会（3STAC）』（計8回）を開催していますが、第7回目を11月20日に農業会館にて開催し、8JA12名が出席しました。この日は税理士の廣田幸造氏より「税務申告の実務とポイントについて」と題し、講習を受けました。講習では、青色申告制度の概要について説明を受けるとともに、実際に使用される確定申告書の様式にて記載項目のポイントなどのアドバイスを受けました。また、講習終了後は、担い手農家への経営指導の実践にかかる成果発表会の持ち方についてオリエンテーションを行いました。なお、成果発表会は1月26日、第8回目の本講習会にて開催する予定で、併せて閉講式を行う予定です。講習を通じた農業所得増大に向けた実践的な取り組みもいよいよ大詰めを迎えています。



# 本県産コシヒカリでパワーアップ

## ～北陸高校に米贈呈～



J A福井県中央会は12月5日、第96回全国高校サッカー選手権大会に県代表として出場する北陸高校に県産コシヒカリ 300 kgを贈りました。県農業会館で行われた贈呈式で田波俊明会長は堀圭吾主将に目録を手渡し、全国大会への出場を祝いました。これに対し、堀主将は「得点にこだわり初戦突破を目指す。いただいた米でパワーをつけて全力で頑張りたい」と抱負を語りました。中央会ではサッカーだけでなく甲子園など全国大会へ出場する高校などをお祝いするとともに、本県産米のPRの一環として贈呈を行っています。

# 後編 記集

今回は、今年初めての取組みとなる「ふくい担い手応援フェア」の記事を大々的に掲載させて頂きました。約500名という集客目標を掲げ無事達成することができました。

産業会館1号館という広い会場でなかなか全てをみてまわるのは大変だったかもしれませんが、少しでも農業者の方々の所得増大につながったと思います。ご来場頂いた皆様、本当にありがとうございました。（HK）



福井県JAグループ

# 創造的自己改革 への挑戦

～ふくい農業応援プログラム～

県JA大会で決議した「農業者の所得増大と地域の活性化に全力を尽くす」の実現に向け、県内各地で農家・組合員・JAが一体となった様々な取り組みを行っています。

具体的な支援事業として、平成29年1月より実施している福井県JAグループ「ふくい農業応援プログラム」は、平成28年～30年度までの3年間に担い手向け直接支援を含め、県内農業者等への支援事業として、JAおよび中央会・連合会の総合事業の強みを発揮し、地域に根ざした活動を展開しています。

**今年度（平成30年度）が最終年度になりますので積極的にご活用ください。**



01

## 新規就農支援事業(拡充)

- 助成要件**
- ① 認定新規就農者かつ独立就農者であること
  - ② 就農後3年以内かつ18歳から45歳未満であること
  - ③ 申請時点で営農しており、今後も継続する見込みであること

**助成内容** 1人あたり最大40万円（年間上限20万円×2年）

**助成総額** 1,000万円

**申込期間** H29.4.1~H31.3.31



**ポイント** 将来の国内農業における中核的な担い手および多様な担い手を育成・支援し、地域農業基盤の振興・発展を支援します。

02

## 水田転換園芸作物推進支援事業

**対象者** 農業者、集落営農組織、農業法人

- 助成要件**
- ① 実需者等との作付・出荷契約を結んでいること
  - ② 湿害対策等、営農指導に基づく圃場の管理に取り組むこと
  - ③ 新規10㎡以上または現在の面積から3年以内に3割増して作付面積を拡大する計画があること
- ※加工・業務野菜生産基盤強化事業対象者を除く  
※助成総額を超過した場合はJAが定めた優先順位による助成を行う

**助成内容**

- ① 集荷資材コンテナ等リース 3円/kg
- ② 10㎡あたり1万5千円以内の一括肥料代助成

**助成総額** 3,000万円

**申込期間** 第2期：H30.4.1~H30.6.30



**ポイント** 新規または規模拡大により水田転換園芸に取り組む農業者に対し、栽培に使用した一括肥料、集出荷用鉄コンテナ利用に係る費用の一部を助成することにより、その取組みを後押しします。

03

## マルチローター普及支援事業

**対象者** 農業者、集落営農組織、農業法人

- 助成要件**
- ① 現在の作付面積から3割増にて3年以上に10ha以上に拡大する計画があること
  - ② 積極的に作業受託や新技術に向けた取組みを行い情報開示やデーター等の取得に協力すること
  - ③ 農林水産航空協会認定施設で講習を受け資格認定を取得する者

**助成内容**

- ① マルチローター研修費 3割助成
  - ② マルチローター購入 3割助成
- 但し、研修費+マルチローター購入費上限70万円  
(①+②助成割合3割)

**助成総額** 1,000万円

**申込期間** 第2期：H30.6.1~H30.8.31



**ポイント** 新技術導入による農業の効率化及びコスト低減に取り組む農業者等に対し、マルチローター（ドローン）導入にかかる資格取得費用および本体購入費用等の一部を助成することにより、その取組みを後押しします。

04

## GAP 認証取得支援事業

**対象者** 農業者、集落営農組織、農業法人、JA出資法人

**助成要件** G-GAP 認証取得に取り組むこと（オリンピック食材認証が J-GAP の場合は J-GAP も要件とします。）

**助成内容** 認証取得に係る指導料、検定料等(上限 30万円)

**助成総額** 450万円

**申込期間** H30.4.1~H31.3.31



**ポイント** 国は農業を成長産業と位置付け、海外(EU向け)輸出を唱えており、そのガイドラインはG(グローバル)-GAPが前提となることからG-GAP等の普及拡大を図ります。

詳しくはお近くのJAまでお問い合わせ下さい。

たべる力を、つくる力に。

福井県JAグループ



# 純米酒

やっぱり福井はうまい。

# 福 燿

ふくのきらめき

厳選した酒造好適米(五百万石100%)と奥越の名水を仕込み水として使用し、しっかりと低温熟成させました。

また、福井オリジナル酵母を使用し、濃醇な米のうまみとふくよかな酸味、コクとキレが特長のお酒に仕上げました。冷やしてすっきり、またはお燗でよりふっくらした味わいとお好みに合わせてお楽しみいただけます。

## 福燿-ふくのきらめき

原材料／

米・米麹 福井県産五百万石100%

酵母 FK-4 福井県産オリジナル

[精米歩合60%／アルコール分15度]

【日本酒甘辛淡濃表】



720ml 詰



1.8L 詰

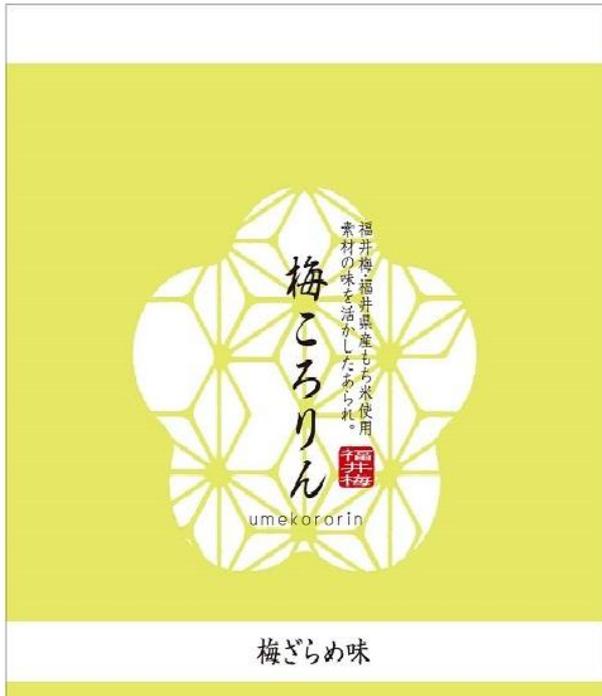
販売元



福井県経済農業協同組合連合会

福井県福井市高木中央2丁目4202

TEL:0776-54-4277



内 容 量 1 2 0 g ( 2 0 g × 6 袋 )

販 売 一部 J A 農産物直売所、土産店、サービスエリア等

梅ざらめ味のあられ !! 「梅ころりん」  
 福井県の豊かな大地と清らかな水で育てられたもち米と日本海側で育ったミネラル分豊富な福井梅を使用したあられ。無添加・無着色で余計なものを加えない、自然な味を活かしたどこか懐かしい素朴な味がやみつきます  
 個包装の食べきりサイズで小分けしやすくお土産にも最適です



梅ざらめ味

## 厚生連

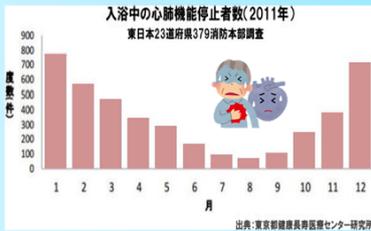
### 冬は注意！ヒートショック

#### 冬は血圧が

寒い冬は、ゆっくりと暖かいお風呂に浸かり、冷えた身体を温めたくくなります。しかし、冬場の入浴は血圧の変動が激しくなり、突然死の原因にもなっています。

血圧は、暑い所では下がり、寒い所では上がる特徴があります。環境に適応しようと自然に体の中で行われていることですが、血圧の変動が激しすぎると、心臓・脳に負担が掛かり、**心筋梗塞**や**脳卒中**などの**突然死**を起す恐れがあります。寒暖差が大きく血圧が変動しやすい冬のお風呂場は、危険性の高い場所の1つです。

このように、急激な温度変化で血圧が大きく変動し、身体にダメージを受けることを「ヒートショック」と言います。



#### ヒートショックを防ぐポイント

- ・脱衣所や浴室を温めておく
- ・お湯の温度を41℃以下にする
- ・食事の直後や飲酒後の入浴は控える
- ・ヒーターはトイレにも設置する
- ・起床時、寒い状態のまま活動をしない
- ・一人での入浴を控える
- ・夕食前、日没前に入浴する

#### ヒートショックの危険性

- 65歳以上の高齢者
- 高血圧・糖尿病・脂質異常症の人
- 肥満の人

ヒートショックは誰にでも起こりうるものですが、「自分は大丈夫!」と油断し、十分な対策がされていない現状です。今年の冬は危機意識を高め、予防をしていきましょう!

JA 福井県厚生連

### みんなでしよう! インフルエンザ予防

子どもや高齢者は重症化しやすいため感染予防が大切です!!

#### 8つの感染症予防対策

|                                               |                                      |                                           |                                                   |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <b>手洗い</b><br>感染対策の基本!<br>爪や指の間も丁寧に           | <b>うがい</b><br>帰宅したら、必ずうがいを! これも基本です  | <b>加湿</b><br>加湿器などで室内の湿度を保つ<br>目安は50%~60% | <b>マスク</b><br>ウイルスは咳やくしゃみで拡がります<br>のど・鼻の乾燥予防にも効果的 |
| <b>換気</b><br>こまめな空気の流れを確保し、ウイルスを排出し、新鮮な空気を確保! | <b>休養</b><br>過労は禁物です<br>十分な栄養と睡眠の確保を | <b>食事</b><br>バランスのとれた食事が大切です! 水分補給こまめに    | <b>人混みを避ける</b><br>人混みへの外出は控えましょう                  |

#### 予防接種を受けましょう!

★ワクチンを接種すると感染を予防したり、感染した際に早く回復できる可能性がります。

★予防接種後、効果がでるまでに2週間程度かかりますので、遅くとも12月初旬までには接種をしましょう。

#### もし、インフルエンザにかかってしまったら...

一般的に、インフルエンザ発症前日から発症後3~7日間は鼻やのどからウイルスを排出しているといわれています。そのためにウイルスを排出している間は、外出を控える必要があります。周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

JA 福井県厚生連